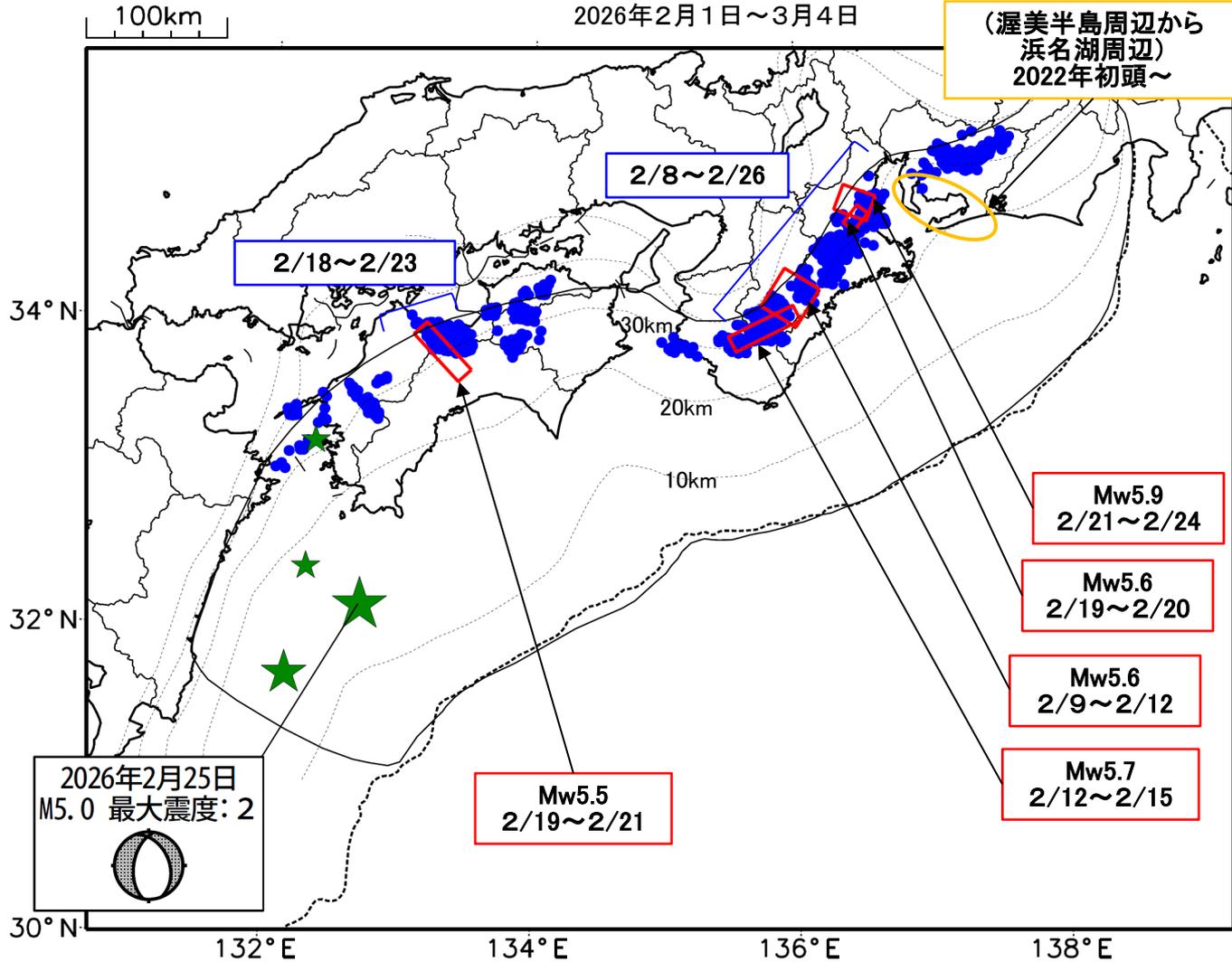


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2026年2月1日～3月4日

(渥美半島周辺から
浜名湖周辺)
2022年初頭～

- 緑(★)
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり



- Mw5.9
2/21～2/24
- Mw5.6
2/19～2/20
- Mw5.6
2/9～2/12
- Mw5.7
2/12～2/15

2026年2月25日
M5.0 最大震度: 2

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。
※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島北部から紀伊半島中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。【四国中部】気象庁の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

令和8年2月1日～令和8年3月4日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
2/3	00:11	豊後水道	39	3.6	2	フィリピン海プレート内部
2/15	04:50	日向灘	26	3.5	1	フィリピン海プレート内部
2/25	18:07	四国沖	-	5.0	2	フィリピン海プレート内部
2/26	02:17	日向灘	-	4.9	3	

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 2月5日～10日 2月15日～16日 2月20日～21日 3月1日 ■四国中部 1月31日～2月2日 2月5日 <u>2月18日～23日</u> ^{注2)} . . . (2) 2月25日～27日 3月1日 ■四国西部 2月3日 2月5日 2月7日 2月11日～12日 2月17日～22日 2月24日～26日 3月1日	■紀伊半島北部 2月4日～5日 <u>2月8日～12日</u> ^{注1)} . . . (1) <u>2月14日～24日</u> ^{注1)} . . . (1) 3月4日 ■紀伊半島中部 <u>2月11日～15日</u> ^{注1)} . . . (1) 2月25日 ■紀伊半島西部 2月9日～14日 2月17日～18日 2月23日 3月1日	2月21日～22日 2月26日 3月2日～（継続中）

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）、（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたものの。

注1） 防災科学技術研究所による解析では、2月8日から14日頃及び2月16日から26日頃にかけて微動活動が見られた。

注2） 防災科学技術研究所による解析では、2月18日から22日頃にかけて微動活動が見られた。